

都立東 高等学校 令和7年度

教科 地理歴史 科目 世界史

教科：地理歴史 科目：世界史

単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 1組～7組

教科担当者：(1～7組：梅原由紀子)

使用教科書：(山川出版社『世界史探究』)

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 世界史

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界との繋がりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したりしたことを説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ・ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立と発展 ・フランス革命とナポレオンの支配 ・中南米諸国の独立 	<p>【知識及び理解】 産業革命と環大西洋革命などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、関連性、意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14
定期考査			○	○		1
<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 ・ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現している。 ・19世紀後半にさまざまな国際運動が進展した背景を理解する。 ・オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。 ・イギリス東インド会社の機能の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・東インド会社の統治と比較したうえで、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。 ・東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 ・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 ・列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ・アメリカ合衆国の発展 ・19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 ・西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動 ・第2次産業革命と帝国主義 ・列強の世界分割と列強体制の二分化 ・アジア諸国の変革と民族運動 	<p>【知識及び技能】 自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。</p> <p>・国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。</p> <p>・第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変革などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。</p> <p>・【思考・判断・表現】 諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、関連性、意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1

